

普通高等教育“九五”国家教委重点教材



基础日语教程

朱春跃 彭广陆 主编

第4册

外语教学与研究出版社

国家教委“九五”重点教材

高等院校日语专业

基础日语教程

第四册

北京外国语大学日语系编

主编：朱春跃 彭广陆

外语教学与研究出版社

(京)新登字 155 号

图书在版编目(CIP)数据

基础日语教程第四册/朱春跃,彭广陆主编. - 北京:外语教学与研究出版社,2000.12

ISBN 7-5600-1942-0

I. 基… II. ①朱… ②彭… III. 日语-高等学校-教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2000)第 37369 号

版权所有 翻印必究

基础日语教程

第四册

北京外国语学院日语系 编

主编:朱春跃 彭广陆

* * *

责任编辑:马 铭

出版发行:外语教学与研究出版社

社 址:北京市西三环北路 19 号(100089)

网 址: <http://www.fltrp.com.cn>

印 刷:北京外国语学院印刷厂

开 本:787×1092 1/16

印 张:25.25

字 数:400 千字

版 次:2001 年 1 月第 1 版 2001 年 1 月第 1 次印刷

印 数:1—11000 册

书 号:ISBN 7-5600-1942-0/G·844

定 价:26.90 元

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

编写和使用说明

本书是为大学本科日语专业一、二年级学生编写的,共分4册,按每周10~12学时计算,每册使用一个学期(180~220学时)。

本书的特色

在本书编写之前和编写过程中,我们对包括本校教材在内的国内外几种主要基础日语教材进行了分析,总结了以往教材的长处和不足,力求编写出一部适合成人学习的、适合中国人学日语的特点和需要的全新的基础日语教材。

本书在以下几个方面进行了新的思考和设计:

1.针对成年人学习日语而又不具备日语的语言环境这一特点,在教学法的取舍上,我们采用了迄今在我国获得极大成功的以教授语法体系为主的教学思想,兼顾了句型和言语交际功能。这样可以使学生获得扎实的语言基础,“后劲”十足。

2.重视语音训练,将语音指导贯彻始终。日语的语音包括音节的发音、单词的声调、复合词的声调、用言活用形的声调变化以及语句重音和语调等等,内容十分丰富,并且有着极强的实践性。语音指导贯穿全书1~4册的每一课。

3.在语法体系上,主要参考了以奥田靖雄先生为代表的日本语言学会(教科研·国語部会)的语法理论,并且吸收了其他语法学说中合理的成份,使我们对日语语法的观察更加全面,语法体系的设计更加完善,同时也更有利于学习者掌握。

4.在语法内容上,主要依据了国家教委1990年颁布的《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》。但在编排上,我们根据日语的实际应用,对各项语法内容出现的先后顺序做了合理的调整和通盘考虑。

5.从一开始就让学生熟悉叙述体和会话体两种文体,并且在会话的语体安排上摒弃“教材日语”,简体和敬体并重,使学生能够掌握因不同的人物关系而采用的不同表达方式,缩短教材语言与实际生活语言的距离。

6.本书课文的题材覆盖面广,语言生动活泼,课文长短适度、难易得当,兼顾多样性、知识性和实用性。

7.课文和会话文均采用标准表记方式,使学生一开始就能够正确认识日语“汉字+假名”式的混合文字表记特点。

8.考虑到使用电脑等实际需要,要求学习者对“罗马字”也能够熟练掌握。

9.在前两册中每课安排了“关联词语”。这不仅可以扩大词汇量,而且它本身就是一个分类词汇表,方便了使用者对同类词汇的查阅。

10.按实际需要,在课文、练习中有意识地加强了对“外来语”的学习。

11.在第三、四册,我们仿照日本国际交流基金“日语能力测试”的出题方式,并根据学生的实际水平,在每五课后安排一次“实力测试”,以期进一步提高学生综合应用所学语言知识的能力。

12.为了便于读者使用,在正文部分之后安排了实用性的附录(语音项目索引、语法项目索引、关联词语索引、总词汇表等)。

本册的编排和使用

本册的整体设计为:1.编写和使用说明;2.目录;3.课文;4.实力测试;5.语音项目索引;6.语法项目索引;7.词汇比较索引;8.总词汇表等几个部分。

每课由8个部分组成:1.本课学习重点;2.课文;3.生词表;4.语音;5.语法;6.练习。

本册的课文是我们从大量的日文原文文章中精选的,内容包括小说、散文、随笔、游记、民间故事及说明文等。

考虑到大学日语专业二年级的课程设置中一般包括了“会话”课,本册不再安排会话体课文。

为了使学习者对日语的书写形式能有全面的了解,我们在课文中使用了标准标记方式,而把虽在“常用汉字表”以外、但在实际使用中较为常见的汉字形式也列在了单词表中,以供使用者参考。在实际使用时应以课文中使用的标准标记方式为准。此外,在文学作品中,为了尊重作家的风格,我们对原文的文字形式未加改动。

由于本书的语法体系与过去教科书中所采用的语法体系差异较大,因此为了便于教学,本书的语法解释部分较为详细。教员在讲解时可根据学生的实际需要有所取舍。

本书的编写分工

本书课文部分为编选的日文原文。其它部分的具体分工和执笔者为:

朱春跃: 语音

彭广陆: 语法

陶振孝: 词汇、实力测试(文字、词汇)

许英淑: 词汇

张慧芬: 练习、词汇比较

高梨公江: 实力测试(读解、文法)

本书的初稿在北外日语系试用过三年。在听取了各方面意见之后,经过反复修订,整理成书。在本书正式出版之际,我们诚恳地希望广大使用者及同行对书中不成熟乃至错漏之处提出批评意见。

鸣谢

本教材原计划由北京外国语大学日语系与日本语言学会(教科研·国語部会)共同编写。双方曾为此进行过多次磋商,日方做了大量的前期准备工作,尤其是在语法体系的设计上提出了具体方案,为本教材的编写奠定了理论基础。尽管后来因故本书的编写工作是由中方完成的,但它得以顺利进行是与日本语言学会成员的积极努力分不开的。在此谨向曾经参与本教材的策划并为之付出辛勤劳动的日本语言学会的奥田靖雄、铃木重幸、上村幸雄、铃木康之、渡边义夫、高木一彦、汤本昭南、新川忠、比毛博、樋口文彦、津波古敏子、狩俣繁久等各位先生表示衷心的感谢。

参与编写、修订工作的还有历届日语系文教专家高梨公江、须田坦男、须田义治、花田裕等先生。此外,严安生教授组织了本教材的立项;朱京伟副教授参加了编写初期的部分工作;何蔚泓、吴珺、王彦、王萍等老师及所教班级学生对本书的内容提出了宝贵意见和修改建议;张春雁、徐滔等同志在教材的编写过程中为电脑录入付出了辛勤的劳动,在此一并致谢。

本书在编写初期曾得到日本国际交流基金的资助。出版之际,谨表深切的谢意。

编 者

2000年5月

第 1 課

何でも
終助辞(9) さ
いくら~ても
情态词 とても

【本文】

鼠の嫁入り

楠山 正雄

昔、昔、ある家のお倉の中に、お米を持って、麦を持って、粟を持って、豆を持って、たいそう豊かに暮らしているお金持ちの鼠が住んでおりました。

子供がないので神さまにお願いしますと、やっと女の子が生まれました。その子はずんずん大きくなって、輝くほど美しくなって、それは鼠のお国で誰一人比べる者のない日本一のいい娘になりました。

こうなると、もう鼠の仲間には見渡したところ、とても娘のお婿さんにするような者はありませんでした。鼠のお父さんと母さんは、

「うちの娘は日本一の娘なのだから、何でも日本一のお婿さんをもらわなければならない。」

と言いました。

そこでこの世の中で誰が一番偉いかというと、それは高い高い空の上から世界中を明るく照らしておいでになるお日様のほかにはありませんでした。そこでお父さんはお母さんと娘を連れて、天へ上っていきました。そして、お日様に、

「お日様、お日様、あなたは世の中で一番偉いお方です。どうぞわたくしの娘をお嫁にもらって下さいまし。」

と言って、丁寧にお辞儀をしました。

するとお日様はにこにこなさりながら、

「それはありがたいが、世の中にはわたしよりもっと偉い者があるよ。」

とおっしゃいました。

お父さんはびっくりしました。

「まあ、あなたよりも偉い方があるのですか。それはどなたでございますか。」

「それは雲さ。わたしがいくら空でかんかん照っていようと思っても、雲が出てくるともうだめになるのだからね。」

「なるほど。」

お父さんはそこで、今度は雲の所へ出かけました。

「雲さん、雲さん、あなたは世の中で一番偉いお方です。どうぞわたくしの娘をお嫁にもらって下さいまし。」

「それはありがたいが、世の中にはわたしよりもっと偉い者があるよ。」

お父さんはびっくりしました。

「まあ、あなたよりも偉い方があるのですか。それはどなたでございますか。」

「それは風さ。風に吹き飛ばされてはわたしも適わないよ。」

「なるほど。」

お父さんはそこで、今度は風の所へ出かけていきました。

「風さん、風さん、あなたは世の中で一番偉いお方です。どうぞわたくしの娘をお嫁にもらって下さいまし。」

「それはありがたいが、世の中にはわたしよりもっと偉い者があるよ。」

お父さんはびっくりしました。

「まあ、あなたよりも偉い方があるのですか。それはどなたでございますか。」

「それは、壁さ。壁ばかりはわたしの力でもとても、吹き飛ばすことはできないからね。」

「なるほど。」

お父さんはそこでまた、のこのこ壁の所へ出かけていきました。

「壁さん、壁さん、あなたは世の中で一番偉いお方です。どうぞうちの娘をお嫁にもらって下さいまし。」

「それはありがたいが、世の中にはわたしよりもっと偉い者があるよ。」

お父さんはびっくりしました。

「まあ、あなたよりも偉い方があるのですか。それはどなたでございますか。」

「それは誰でもない、そう言う鼠さんさ。わたしがいくらまっ四角な顔をして、固くなって、がんばっていても、鼠さんは平気でわたしの体を食い破って、穴を開けて通り抜けていくじゃないか。だからわたしはどうしても鼠さんには適わないよ。」

「なるほど。」

と鼠のお父さんは、今度こそ本当に心から感心したように、ぽんと手を打って、

「これは今まで気がつかなかった。じゃあわたしどもが世の中で一番偉いのですね。ありがたい。ありがたい。」

とにこにこしながら、威張って帰っていきました。そして帰ると早速、お隣の忠助鼠を娘のお婿さんにしました。

若いお婿さんとお嫁さんは、仲よく暮らして、お父さんとお母さんを大事にしました。そしてたくさん子供を生んで、お倉の鼠の一家はますます栄えました。

(講談社学術文庫「日本の神話と十大昔話」より)

【新出単語】

嫁入り (よめいり) ① (名・自サ)	出嫁, 出阁
倉／蔵／庫 (くら) ② (名)	仓库, 库房, 栈房; 谷仓, 粮仓
米 (こめ) ② (名)	米, 大米, 稻米
麦 (むぎ) ① (名)	麦子, 小麦
粟 (あわ) ① (名)	谷子; 小米
豆 (まめ) ② (名)	豆类总称; 大豆, 黄豆
やっとな③③ (副)	好容易, 终于; 勉勉强强, 好歹
ずんずん① (副)	噌噌地, 不停滞地, 飞快地; 一跳一跳地疼
輝く (かがやく) ③ (自五)	发光, 闪耀; 充满, 洋溢, 闪耀; 光荣, 显赫
誰一人 (だれひとり) ①④	谁也 (不), 一个人也 (不)
仲間 (なかま) ③ (名)	伙伴, 同事, 同仁; 同类
見渡す (みわたす) ①③ (他五)	放眼望去, 张望, 远望, 环视
婿 (むこ) ① (名)	女婿, 姑爷; 新郎
何でも (なんでも) ① (副)	不管什么, 什么都……; 无论怎样, 不拘如何; 据说是, 好象是, 多半是
この世 (このよ) ①③	今世, 现世, 此生; 人世, 人间
照らす (てらす) ② (他五)	照, 照耀; 对照, 参照, 按照
御出で (おいで) ① (名)	后续“になる”成为“いる, 来る, 行く”的敬语 表达形式
天 (てん) ① (名)	天
上る (のぼる) ① (自五)	上, 攀登

私（わたくし）①（名）	我（比“わたし”客气）；私人的
御辞儀（おじぎ）①（名・自サ）	敬礼，行礼，鞠躬
にこにこ①（副・自サ）	笑吟吟，笑嘻嘻，微笑，笑盈盈
有り難い（ありがたい）④（形イ）	难得，少有，值得欢迎；值得感谢；感激； 值得庆幸，感到高兴
雲（くも）①（名）	云，云彩
幾等（いくら）①（名・情态）	多少……；纵令……也，无论怎么……也
かんかん①④（副・自サ）	（阳光）炎炎；怒气冲冲；硬物撞击声
照る（てる）①（自五）	照，照耀，晒；晴天
駄目（だめ）②（形ナ）	白费，无用；不行，不可以；不好，坏， 不顶用
吹き飛ばす（ふきとばす）④④（他五）	吹跑，刮跑；吹牛，说大话；赶走，赶跑
のこのこ①（副）	坦然自若，毫不介意；满不在乎，恬不知耻
真つ四角（まっしかく）④③（名・形ナ）	正方形
平気（へいき）①（名・形ナ）	冷静，镇静；无动于衷，不在乎，不介意
食い破る（くいやぶる）④④（他五）	咬破，啃破
穴／孔（あな）②（名）	孔，洞，眼，窟窿；坑；穴
開ける／明ける／空ける（あける）①（他一）	打开；穿开，挖；空开；空出，腾出
通り抜ける（とおりぬける）⑤④（自一）	穿过
心から（こころから）②（副）	衷心地，由衷地
ぽん（と）（副）	“砰”地；拍打声，一下子，突然，猛地
打つ／撃つ（うつ）①（他五）	打，殴打；碰，撞；击
手を打つ（てをうつ）①（词组）	拍手，鼓掌；采取措施
共（ども）（后缀）	们
威張る（いばる）②（自五）	自豪，说大话，逞威风，骄傲；大摇大摆
忠助（ちゅうすけ）①（名）	忠助（日本人名）
生む／産む（うむ）①（他五）	生，产；产生，产出
一家（いっか）①（名）	一家子，全家；一家

【音声解説】

1. 连体词“ある”的读法

“ある”不管后面接什么词，总是读“头高型”。后面的名词易与“ある”复合为一个声调单位，读①型。例如：

ある人→あるひと

ある日→あるひ

ある時→あるとき

ある程度→あるていど

2. “疑问词+1”的声调

“疑问词+1”构成的复合词在语义上结合得较紧密，读法上也多作为一个声调单位。例如：

誰一人→だれひとり，だれひとり
何一つ→なにひとつ，なにひとつ
但强调时，也可以读作两个单位：
なに・ひとつ，だれ・ひとり

3. “一樣”的声调

“一樣”为非自主型声调。

a. 前接平板型词：

お疲れ様→おつかれさま
お日様→おひさま

ごちそうさま→ごちそうさま
中村様→なかむらさま

b. 前接起伏型词：

お父様→おとうさま
ご苦労様→ごくろうさま

山下様→やましたさま
お天道様→おてんとさま

【文法解説】

一. 誰一人

表示对人疑问的“誰”与表示人的数量的“一人”搭配构成固定词组，用于表示对人的全称否定，即后接否定性词语，意为“誰も”或“一人も”，但语气比“誰も”更强烈，它在使用时可以后接“として”。例如：

○誰一人同情しない。〔没有一个人同情他。〕

○誰一人知らぬこと。〔没有一个人知道这件事。〕

○その後の男の行方を知る者は，誰一人としていない。

〔打那以后没有一个人知道那个男人的去向。〕

○きっと，母も，弟も，また世間の人たちも，誰一人私に賛成して下らないでしよう。〔肯定母亲、弟弟还有社会上的人没有一个人会赞成我的。〕

二. 情态词(6) 何でも

情态词“何でも”用于表示说话人的决心，意同“どうしても”，经常以“何が何でも”的形式使用。例如：

○何が何でもわたしは行く。〔我一定要去。〕

○何が何でも行くと言って聞かない。〔他说非得要去，就是不听劝阻。〕

○**何が何でも**今日中にこの仕事をやってしまわなければならない。

[不管怎么样今天之内要把这项工作完成。]

○今日の試合には、**何が何でも**勝ちたい。

[今天的比赛无论如何要赢。]

三. (か) という

“という”引出的(以“か”结尾的)疑问句是说话人提出的问题,后面的部分是说话人对此的回答。这种句子属于自问自答的句子。例如:

○新製品の開発には多くの情報が必要か**という**と、必ずしもそうではない。

[开发新产品是否需要很多信息呢,这也不一定。]

○日本人は古代から肉食をしなかったのか**という**と、決してそうではない。

[是不是日本人从古代就不吃肉呢,绝非如此。]

○彼は駄目な人間か**という**と、決してそうではない。

[他是个没用的人吗,绝不是这样的。]

○この事故を未然に防げたか**という**と、それは無理なことだった。

[这个事故是否可以事先预防呢,这是很困难的。]

如果疑问部分包括“どうして／なぜ”等疑问词,则回答的部分是表示原因、理由的,而且一般以“からだ／からです”的形式结句。这实际上是一种倒装的表示因果关系的复句。例如:

○どうしてこんなに水ばかり飲むか**という**と、暑くて汗をかきすぎたからです。

[为什么喝这么多水呢,是因为天气热出汗太多了。]

○どうして日本の雨はポテンシャルが高いか**という**と、日本は山が多く、河川が短いからだ。[为什么日本下雨的概率高呢,这是因为日本山多,河流短。]

四. -を-にV

本课中出现的“わたしの娘を嫁にもらって下さいまし”,分别可以说成“わたしの娘をもらう”和“お嫁をもらう”,但合在一起说时就要说成“わたしの娘をお嫁にもらう”,这时的“に”表示变化的结果,同时也可以认为它表示资格,因为“に”可以换成“として”。一般表示人的社会地位、资格的变化的动词都可以用于“-を-にV”这个句型。例如:

○キュリー夫人をラジウム研究所所長に**任命する**。

[任命居里夫人为镭研究所所长。]

○彼を部長に**起用する**ことについて、異を唱える者もいた。

[对于起用他为部长,有人持不同意见。]

○社長はその女性を秘書に**雇った**。

[社长雇那个女子作他的秘书。]

五. 终助辞(9) さ

终助辞“さ”多为男子或少女、中青年女子在不拘礼仪的情况下使用。它出现于句尾，接在动词、イ形容词的终止形和ナ形容词的词干以及名词、相当于名词的成分后面（“だ・です”要省略），表示说话人的强烈的主张，这时“さ”一般重读。使用“さ”的句子一般表示说话人的断言，其内容多为理所当然、不言自明的，有时带有一种冷漠、旁观者的口吻。例如：

- それは君の間違いさ。[那是你的错。]
- 大人が勝つのは当たり前さ。[大人赢是当然的。]
- やり方を変えなければ、何度やっても同じさ。[不改变方法的话，做几次也一样。]
- 知っていたけど、言わなかっただけさ。[我当时知道，就是没说。]
- 学校を休んだのは、頭が痛かったからさ。[之所以没去上学是因为头疼。]
- そんなことくらいできるさ。[那么容易的事我也会（我也做得了）。]

六. いくらーても

表示对数量疑问的“いくら”与用言（主要是动词）的“ても”的形式搭配时，表示无论怎样进行该动作都不会或没有出现相应的结果，因此句尾与之呼应的多为否定的词语。例如：

- いくら説明しても分かってくれない。[怎么解释他也不明白。]
- 今日はいくら飲んでもかまわない。[今天喝多少都没关系。]
- いくら働いても、生活が楽にならない。[怎么干生活也改善不了。]
- いくら誘っても断って、まっすぐ家へ帰って奥さんに月給を袋のまま渡してしま
うんです。[怎么邀请他都回绝，人家是径直回家把工资原封不动地交给夫人的。]

七. ーて下さいまし

本课中出现的“ーて下さいまし”是“ーて下さいます”的命令形。同样作为命令形，还有“ーて下さいませ”的形式，后者更为常见。“ーて下さい”是二者的省略形式。有“ーて下さいまし”形式的动词还有“いらっしゃる”等。

八. ーばかりはーない

名词后面接提示助辞“ばかり”，再接提示助辞“は”，并与句尾的否定形词语呼应时，表示该名词指称的事物属于例外。例如：

- そればかりは話すわけにはいきません。[唯独这个不能说。]
- にこにこした風を装うのが常であつたが、今日ばかりは本心を隠さなかつた。
[平常总装作笑容满面的，只有今天露出了本来面目。]
- 貸してくれと言われれば何でも貸すが、本ばかりは貸さないようにしている。
[向我借什么都可以，唯有书，我是从来不外借的。]

九. 情态词(7) とても

“とても”用作情态词时句尾有否定性的词语与之呼应，表示彻底的否定。例如：

- とても1日ではできない。〔一天根本干不完。〕
- とても30歳には見えない。〔看上去根本不像30岁。〕
- 日本語では日本人にはとてもかないません。〔在日语方面绝对比不过日本人。〕
- こんな大きな石は、とても一人では運べないよ。
〔这么大的石头，一个人可搬不动啊。〕
- 彼はとてもプロとは言えません。〔他根本称不上是专业水平。〕

十. 前缀 真一

前缀“真一”接在名词、形容词词干前面构成名词、形容词时，表示“真正的，纯粹的，正确的，正好的，美好的，标准的”之意。“真一”接在音节“さ／く／あ（该音节发生变化）”等前面时一般变为“真っ一”。例如：

- 真心／真人間／真水／真四角／真北／真横／真正直／真新しい／真玉／真竹／真がも／真いわし
- 真っ^{さお}青／真っ^か赤／真っ黒／真っ暗／真っ盛り／真っ最中／真っ先／真っ^{さか}逆さま

十一. 后缀 一^{ども}共

后缀“一^{ども}共”接在第一人称代词后面时表示自谦。例如：

- わたくし^{ども}の手違いでした。〔这是我的差错。〕
- てまえ^{ども}の店では扱っておりません。〔我们店里不卖这个货。〕
- これはお宅のお子さんですか。〔这是令郎吗？〕
はあ、てまえ^{ども}の子供です。〔对，是我的。〕

【類義語の使い分け】

一. さっそく（副） すぐ（副）

1. さっそく

表示动作主体有意识地“尽快”做某种事情，而这种事情一般是动作主体高兴去做的。它可以作副词用，也可以用“さっそくの”的形式做定语，还可以用“さっそくですが”的形式做条件句。例如：

- 着いたらさっそくお手紙を差し上げます。〔到了以后，我立刻给您写信。〕
- 結果が分かり次第，さっそくお知らせ致します。〔一有结果就立即通知您。〕
- さっそくのご返事，ありがとうございました。〔很快就收到了回信，谢谢您了。〕
- さっそくですが，用件に入らせていただきます。〔不揣冒昧，我就直接谈正事了。〕

2. すぐ

表示直到某一新状况出现时为止，无时间或空间上的间隔。多用于人的意志性行为，但也有时用于人的非意志性行为，或用于动物、植物以及自然现象。例如：

○知らせがくれば、**すぐ**出発する。〔一接到通知，马上就出发。〕

○この薬は大変強いから、飲むと**すぐ**ききます。

〔这药很顶事，吃下去马上就见效。〕

○猫は魚を見つけたら、**すぐ**食ってしまう。〔猫见到鱼，就会立刻把它吃掉。〕

○切っても切っても**すぐ**また枝が伸びる。〔剪了又剪，可树枝还是长个不停。〕

○**すぐ**10時だ。〔快到十点了。〕

“さっそく”只能用于时间，“すぐ”可用于时间，也可用于空间，“すぐ”还有“容易”的含义。例如：

○彼の家は**すぐ**わかった。(さっそく×)〔他家很好找。〕

○安いものは**すぐ**こわれる。(さっそく×)〔便宜货容易坏。〕

○あの子は小さいことでも**すぐ**泣く。(さっそく×)

〔那个孩子为一点小事也哭。〕

“すぐ”还可以表示原封不动的意思，这是从“立即”、“立刻”这一含义发展而来的。例如：

○火を通さず、**すぐ**食べられる。(さっそく×)〔不用加热就可以吃。〕

“さっそく”一般用于愿意实行并能够办得到的事情，不用于不愿意做的场合。也有个别用于非意志性行为以及自然现象。“すぐ”主要用于人的意志性行为，也可以用于非意志性行为、动植物以及自然现象等场合，并且可以用于当事人不乐于做某事的场合。例如：

○お酒を買ってきたから、**さっそく**飲んだ。(すぐ○)

〔因为买来了酒，所以马上就喝了。〕

○疲れても**すぐ**洗濯しなければならない。(さっそく×)

〔即便累了，也必须马上洗衣服。〕

○彼は椅子につくと、**さっそく**居眠りを始めた。(すぐ○)

〔他一坐到椅子上就打起盹来了。〕

○梅雨に入ったと思ったら、**さっそく**雨が降り出した。(すぐ○)

〔刚一入梅就下起雨来了。〕

在时间间隔上，“さっそく”是不留时间间隔地进行某行为，“すぐ”则是可以不留时间间隔，也可以留有短时间的间隔，即以任意设置的某时间为基准，并不限定于“现在”。例如：

○それなら、**すぐ**売り切れるだろう。〔如果是那个，很快就会卖完吧。〕

“すぐ”可以修饰名词，“さっそく”则没有这种用法。例如：

○彼女は**すぐ**向こうのアパートに住んでいます。〔她就住在对面的公寓里。〕

○すぐ近くまで来たので寄りました。〔我正好到了这附近，所以顺路来看看您。〕

○デパートはすぐそこです。〔百货公司就在那儿。〕

二. そこで (接) それで (接)

1. そこで

表示后句承接前句，前句构成某种情况，后句表示为应付该情况所做的积极的行动，或者表示由该情况自然引发的事项。因此，前句可以是因果关系，也可以是非因果关系。例如：

○先生はもっと簡単な計算の仕方があるとおっしゃいました。そこで、わたしはもう一度考えてみることにしました。〔老师说有更简便的计算方法，于是我决定再考虑考虑。〕

○ひどく疲れた。そこで早く寝ることにした。〔太累了，所以就早早地睡下了。〕

○いくら計算しても答えが王さんのと違う。そこでどちらが正しいか、先生に聞いてみた。〔再怎么计算，答数总是和小王的不一样。于是去问老师究竟哪个对。〕

○言い合っているうちに、二人とも言葉づかいが乱暴になりました。そこでお互いにもう少し冷静になろうと提案した。〔在争论过程中，两个人的话都变得粗鲁起来了。于是我建议双方都冷静一点儿。〕

2. それで

用于表示结果或结论的句子，前句表示原因或情况。“それで”多用于客观地说明各种现象之间存在的因果关系。例如：

○品物はよかったのですが、お金が足りませんでした。それで買わないで帰りました。〔东西是不错的，可是钱不够了，因此没买就回来了。〕

○よく頑張った。それで成績が上がった。〔刻苦了一番，所以成绩提高了。〕

○妹はこのごろ甘いものばかり食べています。それで太ってしまいました。

〔妹妹近来光吃甜食，所以胖了。〕

○どうすればよいのか、わたし一人では分かりません。それで今日ご相談に伺ったのです。〔怎么办才好，我一个人作不了主，因此今天来找您商量。〕

在表示前句情况自然引起后句事项时，“それで”和“そこで”可以替换使用。

○財布は落としてしまうし、知った人は誰もいない。それでやむなく家まで2時間も歩いて帰ったというわけだ。(そこで○)

〔钱包丢了，又没有一个人认识的人，所以只好步行了两个小时回到家。〕

○ドアのチャイムが鳴った。そこで話を中断しドアを開けに行った。(それで○)

〔门铃响了，于是中断了谈话去开门。〕

前句只表示某种场面，不表示原因、理由时，“そこで”和“それで”不能替换使用。

○彼はそう簡単には承知するはずがない。そこで、いい考えを思いついた。

(それで×)

[他不会那么容易就答应吧。于是又想出了个好主意。]

“それで”の後句可以是动词谓语句，也可以是形容词谓语句，而“そこで”只能用动词谓语句。例如：

○食べすぎてしまった。それでおなかが苦しい。(そこで×)

[吃多了，所以肚子很难受。]

“それで”还可以表示为了要了解事情的结局如何而催促对方继续讲下去。而“そこで”则没有这种用法。例如：

○「昨日、レントゲンをとりました。」

「それで結果はどうでしたか。」

[“我昨天拍了X光片”。“那结果怎么样?”]

○「彼は怒って帰ってしまいました。」

「それで、あなたはどのようなつもりですか。」

[“他生气回家了。”“那么你打算怎么办呢?”]

【練習問題】

一. 次の単語の読みを平仮名で書きなさい。

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| 1. お倉—倉庫 | 2. 豆—小豆 | 3. 住む—住居 |
| 4. 持つ—持病 | 5. 世の中—世界 | 6. 空—空気 |
| 7. 連れる—連絡 | 8. 隣組—隣国 | 9. 帰る—帰宅 |
| 10. 栄える—繁栄 | 11. 生む—生計 | 12. 家—一家 |
| 13. 若い—若干 | 14. 手紙—手段 | 15. 固い—固有 |
| 16. 力—力士 | 17. お日さま—日本— | 18. 照らす—対照 |
| 19. お願い—志願 | 20. 上る—上達 | |

二. 下線部を漢字に書き換えなさい。

1. ねずみのよめいり。
2. おくらの中にむぎやあわなどがある。
3. お日さまはせかいじゅうをあかるくてらしている。
4. こんどはくものところへでかけた。
5. ねずみさんはへいきでわたしのからだをくいやぶる。
6. あなをあけてとおりぬける。
7. わかいおむこさんとおよめさんはなかよくくらしている。
8. ねずみのいっかはますますさかえた。